学校番号	T0203

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	現代高等保健体育　改訂版（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康や安全について理解する。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに技能を身に付けている。	・健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	・生涯を通じて自他の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営むため、学習に主体的に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代社会と健康	オリエンテーション。 ※活動目標・年間計画と授業の進め方を説明する。	a：各内容において、自身の考えを発言したり文章で表現したりできる。 応急手当や心肺蘇生法の正しい方法について、クラスメイトと協力し、実践できる知識を身につける。(応急手当の意義とその基本、心配蘇生法の原理と実践) b：各内容において、必要な情報を比較したり分析したりしてまとめた考えを説明できる。 c：各内容において、意見交換や自身の考えを発表するなど自主的に取り組もうとしている。	ノート提出 定期考査	ノート提出 定期考査	授業に取り組む姿勢 自己評価
		健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた				
		生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養･睡眠と健康				
		喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康				
後期		精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復				
		現代の感染症 感染症の予防 性感染症･エイズとその予防				
		健康に関する意思決定･行動選択 健康に関する環境づくり				
	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全				
		応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度